

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第9週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第9週分 2月26日～3月3日（3月6日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：343人、定点医療機関当たり7.15人、新規患者推計値※：1,619人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

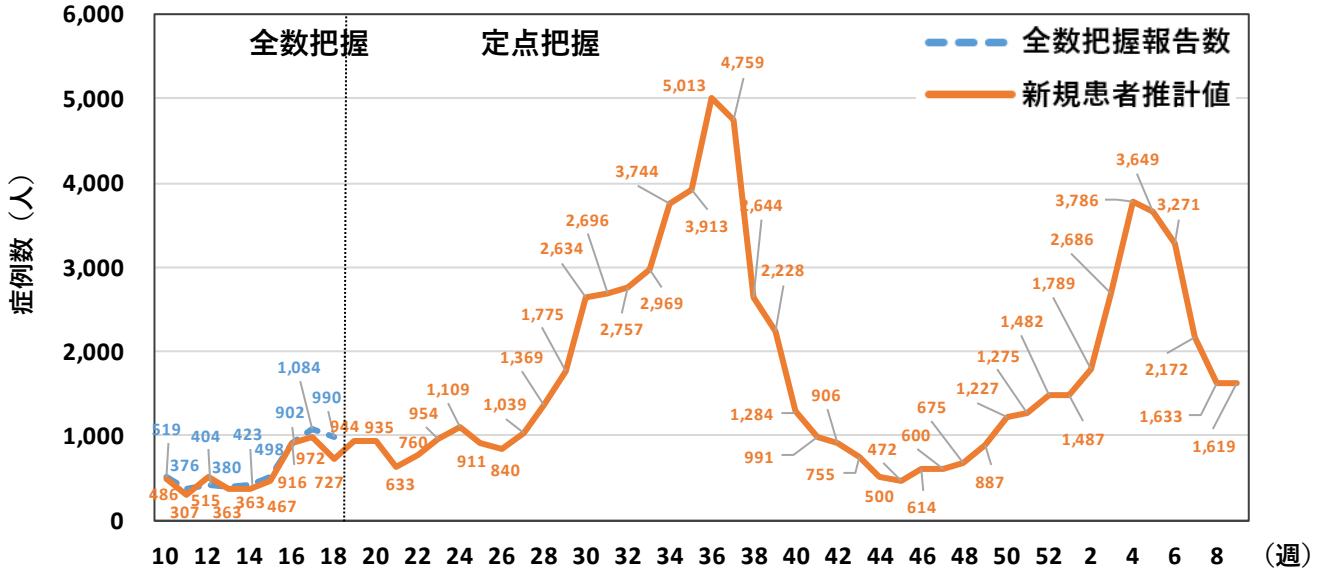


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

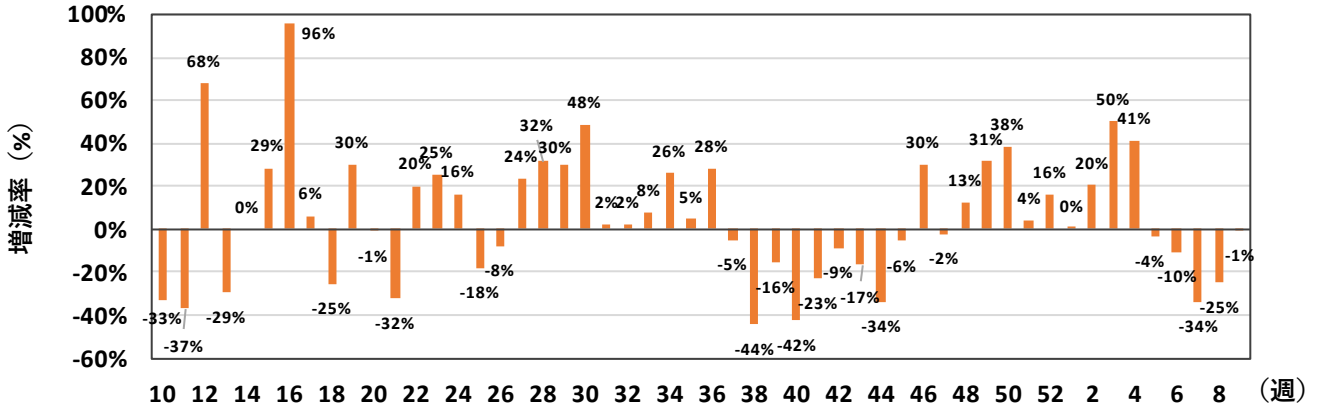


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第9週）

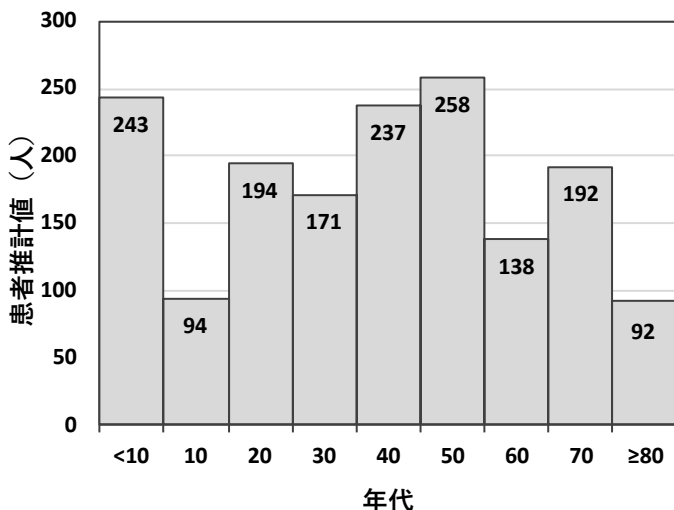


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第9週）

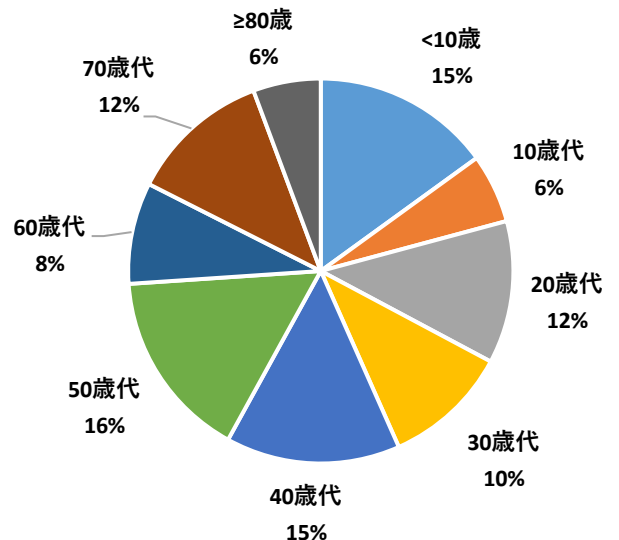


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

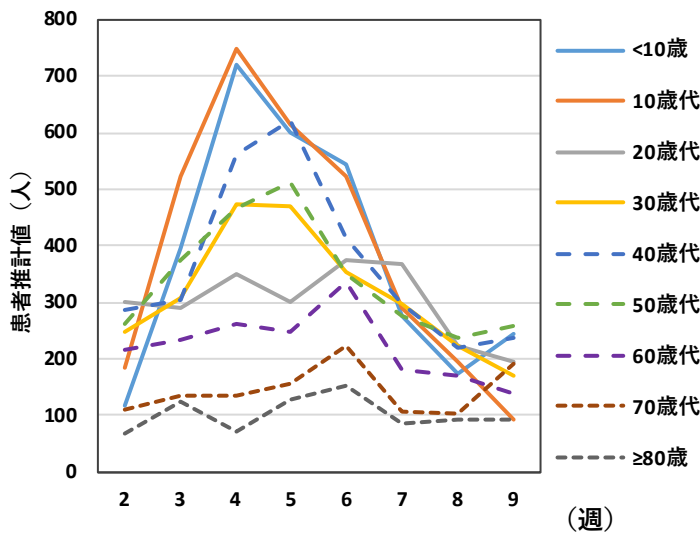
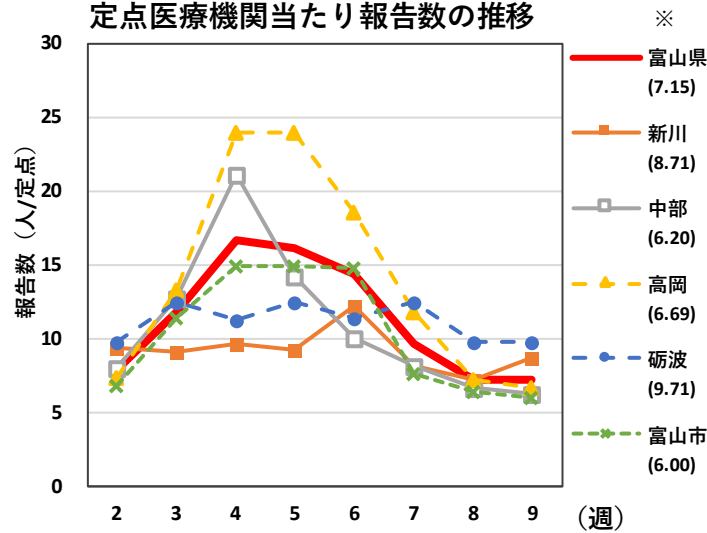


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第9週、60例）

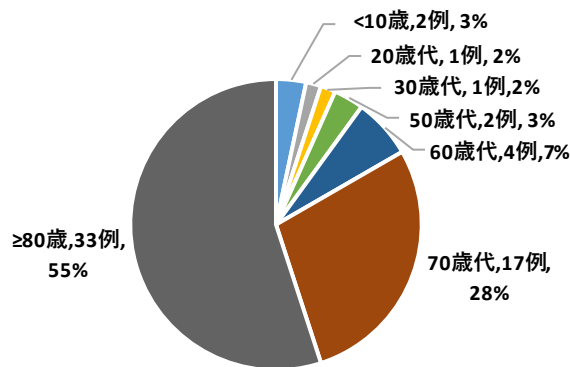
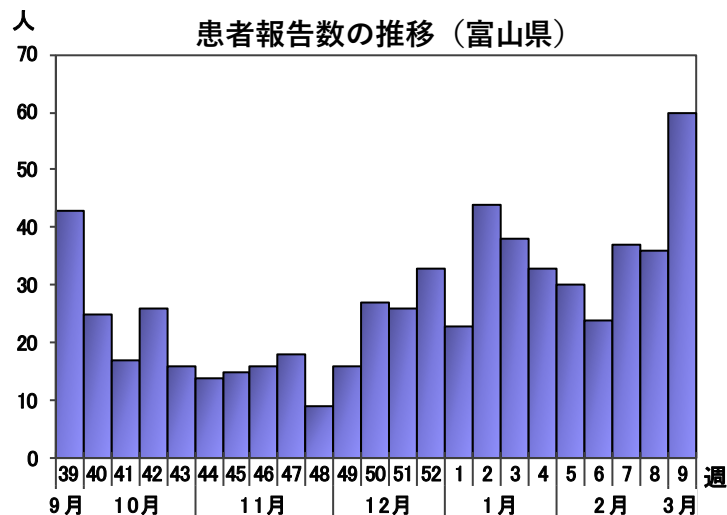


図8.COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）



第9週（2/26～3/3）時点での所見と評価

- 第9週の定点医療機関当たり報告数は7.15人、新規患者推計値は1,619人であった。前週推計値（第8週、1,633人）から横ばいであった（図1、2）。
- 第9週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く16%を占め、次いで10歳未満、40歳代（15%）の順であった。60歳以上の割合は26%で先週（22%）から増加した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。10歳未満、70歳代で増加がみられ、その他の年齢は減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で7.15人/定点であり、先週（7.21人/定点）から横ばいであった。新川管内では先週から増加した。一方、その他の管内では先週から横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第9週に60例の入院報告があり、先週（36例）から増加した。年代分布では、70歳代が17例、80歳以上が33例で、70歳以上が83%を占めた。（図7、8）。
- 2023年45週以降、継続的に増加していたCOVID-19の患者報告数は、2024年第4週をピークに先週まで減少傾向が継続していたが、今週は横ばいとなった。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。